



図書館だより 9月



秋の香り

NO.5

2010/09/01

ノートルダム学院小学校図書館

9月をむかえて、朝夕は秋の風を感じるようになりました。

「秋の野に咲きたる花を指折りかぞふれば七種の花---はぎの花、尾花（ススキ）、葛の花、撫子なでしこの花、女郎花おんなえし、藤袴ふじはかま、朝貌あさかおの花（キキョウ）」 秋の七草の始まりとされる万葉集にある山上臆良の旋頭歌です。今ごろは、野に自生しているものが少なくなりましたが、これらの植物は古くから人々のくらしとかかわってきたものです。「ハギ」は江戸時代8月15日に行われる元服の儀式にハギの枝にだんごをさして食べたそうです。「ナデシコ」は「トコナツ」とも言って、不幸の多い夏にこの花をかざってもう一度正月（はやり正月）を祝うことがあったそうです 「秋の七草」の覚え方にはいろいろありますが、みなさんはどのように覚えましたか。工夫した方法を教えてください。「おすきなふくは。」 「ハスキーなおふくろ」

夏休みには、楽しい読書ができましたか

時間を気にせず、好きなだけ本を読むことのできる夏休み。みなさんはこの夏休みにどんな本とワクワクドキドキの出会いをしましたか。心に残る一冊、忘れられない一冊の本。きっと心の友だちを一つ2つとふやすことができたことでしょう。

読書と感想文

まず自分のあったよい本にであうことです

どの本でも感想文が書けるかということ、なかなか そうはいきません。本を読んでいるうちに、自分の心が強くうごかされるような本がいいですね。よい本を選びましょう。



つぎにその本をよく読むことです。

くりかえし何回も読みましょう。

自分の経験と似ているところ、またまちがっているところなどを比べましょう。

自分の思ったこと、感じたことを自由に書いてみましょう。

それからもう一度あらためて考えてみてください。読書感想文を書くということは「自分を見つめること」なのです。あなたにしか書けない感想文をめざして書いてください。

